

域を歩くことにあります を元にゆっくりとしたスピー

トパスを通じて、

ングとは異なり、

参加者自らが地図

活動が盛んになっています。

スの特徴は健康のためのウオ

(Path)」という意味で、

がら歩く (Foot) ことができる小

北九州市立大学地域創生学群では、 平成26年度から福岡県の中間市や築 上町などでフットパスによる地域活性 化に取り組んでいます。学生らが地域 を歩き、住民とのコミュニケーションを 図りながらコースづくりを行い、併せて SNSなどでの積極的な魅力発信によっ

て、交流人口の獲得につながっています。 この知見などを生かして、昨年度から 高崎地区のコースづくりにも参画してい ます。今後、地域に住む皆さんと外部か らの来訪者による対話が生まれ、特産 品などの周知につながり、地域全体が 元気になることを期待しています。

活気あふれる!

人口減少が進む中、市内では、地域活性化について住民自らが考え、行動するという意識が根付きつつあり ます。まちづくり協議会や自治公民館、NPO、各種団体などによる、主体的で意欲的な地域活性化の取り組み の中から、今回は「たかざきフットパス」を中心に紹介します。

> ◎問い合わせ 地域振興課 **2**23-7146

高崎地域生活課 ☎62-1111

Ó

人材不足や絆

誰もが安

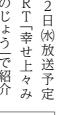
減少や

高齢化

を展開しながら、 年度からは、 どが積極的に協働の取り組みを進め 区でまちづくり協議会が設立。 を進めるため、 本市でも、 ・ます。 住民主体のまちづくり 若年層の 平成22年度から各地 た地域で暮らせるよ 活力の低下が危惧

解決する取り組みを支援しています。 の世代を巻き込むため また、 祝吉地区では、 トフェスタ」と題した地 都城市地域活性化事業 地域の課題解決を後押 庄内地区では、 五十市地区では、「イ 地域の力で課題を 生活困窮 まちづ 同 25

者への食の支援や居場所づくりを目 この拠点を中心に「このまちに住 的とした「スマイルカフェ祝吉事業」 のにぎわい創出に取り組んでい りに高齢者だけではなく、











北九州市立大学

地域創生学群長

晃 教授

内田

約3.2km (約1時間40分) で、四季によって移り変わる風景 を楽しむコース

約3.7km(約2時間)で、まちの人との会話と川のせせらぎ

たかざきフットバス

市ホームページでは、2つのコースを動画とと

※QRを読み込むか、または「たかざきフットパ

地域の魅力が再発見できました

今回、北九州市立大学の学生さん や地域の皆さんとともに、フットパス のコースづくりに取り組んで、さまざま な気付きがありました。例えば、四季 によって移り変わる風景を楽しむなど、 今まで気付かなかった地域の魅力が再 発見できました。

今後、高崎地区では各地域でコース づくりを進め、市内外から多くの皆さ んを受け入れ、交流の輪を広げていき たいと考えています。一回限りの関係 ではなく、末永く愛着を持ってもらえる よう、笑顔とおもてなしの心で高崎の 魅力を届けていきたいです。

- に参加し笑顔を見せる北九州市立大学の学生



もに紹介しています。

ス|で検索ください ●大牟田せせらぎコース -

を楽しむコース ●笛水みごちコース

高崎地区フットパス事業 検討委員会 古川辰昭会長

10月7日 金、北海道からのグループを迎えたツアーの様子(笛水みごちコース)

7 Miyakonojo City Public Relations 2022.11